



グローバル COE 物質科学イノベーション講演会

演 題: **マイクロチャネルの表面修飾と流体制御**

講 師: **金 幸夫 教授**

茨城大学理学部化学科

日 時: 2008 年 7 月 29 日 (火) 15:00 ~ 16:30

場 所: 理学部本館 N308 室

要 旨:

この10年間にガラスやプラスチック基板マイクロチャネルチップを用いた化学が大きく発展した。マイクロチャネルチップは様々な特徴を有する。中でも、比界面積が大きいマイクロチャネルでは、触媒反応や相間移動反応など、界面を効率的に利用できるだけでなく、界面の性質を利用してチャネルを流れる流体に「力」として働きかけられる。この力は弱いながらもマイクロ流体に対しては大きな力として働く。本講演ではこの力を利用したマイクロ流体制御について紹介する。

金先生は本化学専攻・分析化学研究室の講師・助教授として活躍された後、東京大学工学部応用化学科においてマイクロチップ化学の第一人者である北森武彦教授とともに研究を精力的に行い、昨年7月から茨城大学理学部・教授になられております。この度、化学専攻の集中講義・講師として北大に来て頂くことになりましたので、あわせて講演会を企画致しました。マイクロチップ化学に関する最先端のお話しをして頂きますので、ふるってご出席下さい。

連絡先: 理学院化学部門 喜多村 昇 (内線: 2697)